

公の施設の指定管理者における業務状況評価

2026年7月21日

施設名	高知県立ふくし交流プラザ	所管課	子ども・福祉政策部地域福祉政策課
-----	--------------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	(社福)高知県社会福祉協議会	指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
施設所在地	高知県高知市朝倉戊375-1		
事業内容	1 高知県立ふくし交流プラザの維持管理等業務（施設の維持管理及び貸し出し） 2 県民に対する介護講座事業の実施 3 福祉用具の調査研究、展示、試用貸出、収集及び保管管理 4 ふくし交流プラザふれあいショップの運営 5 自主提案事業 <令和7年度> 1)シルバー手づくり展開催事業 2)障害児支援に係る事業(キッズバリアフリーフェスティバル) 3)施設を活用した生活困窮者支援事業		
施設内容	施設名:高知県立ふくし交流プラザ 設備:2F～5Fに自動販売機設置 駐車場(普通車で209台／無料)完備 面積:【土地】8,187.83㎡／【建物】7,965.24㎡(延べ床面積) 利用時間:9:00～17:00(ただし、特別に許可された貸室は21:00までとする) 休館日:毎月第2日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日 12月29日～1月3日 貸室:各室の面積、定員、利用料金は【別紙1】のとおり		
職員体制	プロパー職員:1人 専門職員:2人 非常勤職員:2人 事務職員:2人 合計:7人		

2 収支の状況

(単位:千円)

		令和6年度(決算)	令和7年度(決算)	令和8年度(予算)
収入	県支出金	69,599	76,540	80,039
	使用料・手数料	14,494	14,603	15,202
	負担金	11,251	11,153	11,933
	その他	1,232	678	1,051
	収入計 (a)	96,576	102,974	108,225
支出	事業費	4,271	4,946	6,581
	管理運営費	63,411	73,344	74,008
	人件費	32,375	33,797	27,636
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	100,057	112,087	108,225
収支差額(a)-(b)		▲3,481	▲9,113	0

3 利用状況

	令和6年度(実績)	令和7年度(実績)	令和8年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	56,482	53,718	60,000
②利用者意見等の反映	○貸室利用者アンケート等の実施状況 時期:随時 方法:館内に意見箱を設置し、利用者からの意見を収集。 結果:令和7年度:来館者への対応とレストランの再開に関するご意見 2件。		
	○ 事業参加者アンケート等の実施状況 時期:その都度 方法:アンケート調査による意見収集 結果:講座受講者のニーズを把握し、事業企画に反映している。		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 対応可能な意見等については、速やかに対応することとしている。		
③その他特記事項			

4 令和7年度業務評価

項 目		評 価	状 況 説 明
効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理	適正な管理運営の確保	B	・利用者を安全に避難誘導させる技術向上を目的に、火災が発生しやすい箇所を想定した避難訓練を行うなど、災害が発生した際に業務の継続と利用者の安全確保ができるように取り組んでいる。
	利用者サービスの維持向上		・施設利用申請書の押印を不要とするなど手続きの簡素化を図るとともに、来館者や電話等での問い合わせや相談については、相談窓口や関係団体へ円滑につなぐなど適切な対応を行っている。
	利用実績		・施設及び設備に関する保守管理について、計画的、継続的な保守、点検、修繕を実施している。
	収支の状況		・貸室全体の利用日数は延べ1,662日でR6年度より66日(3.8%)減少した。また、利用者数は延べ53,718人で、R6年度より2,764人(4.9%)減少し、利用料収入は、13,993千円で、R6年度から444千円(3.1%)減少した。これは指定管理事業(利用料金免除)における利用時間の増加等によるもの。

福祉の総合拠点としての情報発信と機能の充実・強化	福祉や介護に関する情報収集及び発信	B	・高齢者疑似体験、車椅子体験、VR認知症疑似体験、テーマ別の介護講座の実施等を通じて、地域住民への介護知識・介護技術の普及を図った。また、広く県民に福祉や介護に関する情報発信及び啓発を行った。
	福祉用具の展示及び管理		・本会及び県のSNS(X)を活用して、情報発信を行った。また、障害児支援に関する事業では近隣の小学校に広報チラシを配布するなど、関係機関等との連携・協力による福祉の振興に努めた。
	高齢者や障害のある方の社会参加への促進		・福祉用具の相談については、専門知識を有する相談員を配置し、専門的な相談に対応している。 (福祉用具展示コーナー相談件数:863件)
	福祉を担う人材の育成		・福祉用具の展示、福祉用具の試用貸出も実施している。 (福祉用具の試用貸出:924件)
	関係機関等との連携・協力による、福祉の振興		・介護講座事業では、福祉用具展示コーナー専門職員と連携し、講座内容に応じた福祉用具の出張展示及び説明会を開催するなど、福祉用具や介護保険への理解啓発に努めた。 ・ふれあいショップ運営事業により、高齢者や障害のある方の創作品を展示・販売し、高齢者や障害のある方の健康・生きがいづくりに寄与した。 (出品団体:延べ129団体、出品点数:延べ3,928点) ・通常の福祉機器展以外にも、障害のある子どもと家族、その他関係者等を対象としたキッズバリアフリーフェスティバル(来場447名)を開催し、相談対応、支援制度や最新の福祉機器の情報提供、学習及び交流の場の提供等を行い、支援者の資質向上や連携強化を図っている。

項 目		状 況 説 明
総合評価		・高知県社会福祉協議会による管理は第4期、18年目となり、ノウハウも一定蓄積し、高知県社会福祉協議会の持つ幅広いネットワークを生かした運営が行われている。 ・利用者サービスの維持向上のために、積極的に関係機関等の連携が図られている。 ・運営に対する利用者からの意見を収集するための意見箱の設置など、施設の利便性向上に向けた取組を実施し、速やかな対応が行われている。
	B	・施設の維持修繕について、計画的に実施し改善を図っている。開館から30年を超え老朽化に伴う不具合が増加しているため、今後も引き続き法定点検の適切な実施や施設の計画的な維持修繕の実施など、適正な施設・設備の管理を求める。 ・イベントが重なり駐車場が不足する見込みがある場合は、近隣にある複数の駐車場の借用や、駐車場整理要員の派遣を実施するなど、利用者にも不便が生じないよう機動的な対応がとられている。 ・今後も引き続き潜在的な利用者ニーズの把握や利用者の満足度の向上を図るとともに、「福祉の総合拠点」として相談機能の充実や福祉サービスの質の向上に向けた取組の強化が必要である。

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの